⚠ 注　意

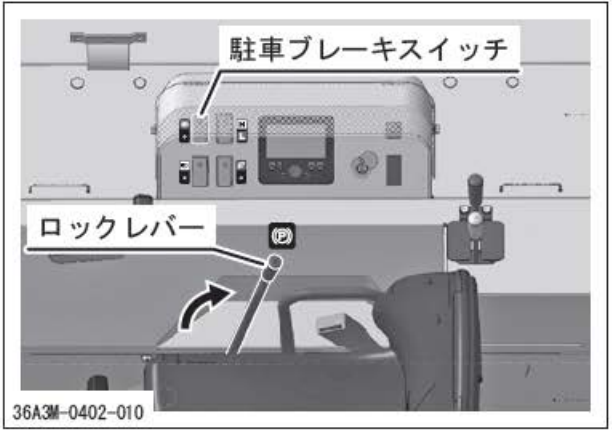
・ディスプレイに排気ガスフィルタのアイコンが点滅している場合、ＤＰＦの手動クリーニングを行ってください。手動クリーニングを怠ると故障の原因になります。

・クリーニング中は排気ガスが高温になります。手動クリーニング中はやけどや火災防止のため、排気管の周辺には人や可燃物を近づけず、安全な場所で行ってください。

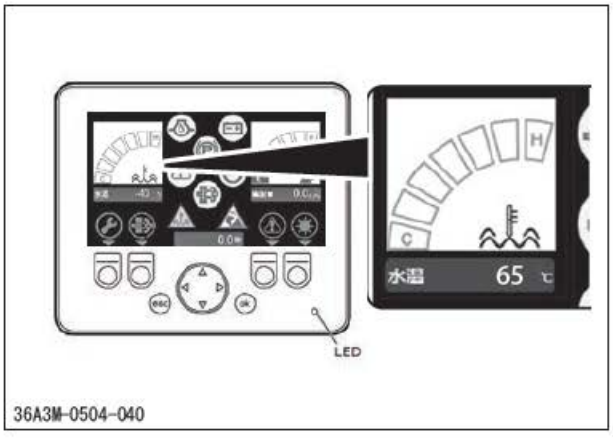
・換気の悪い場所では行わないでください、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

・手動クリーニングは１５～２０分かかり、下記の１～４のうち２項目が外れるとキャンセルされます。

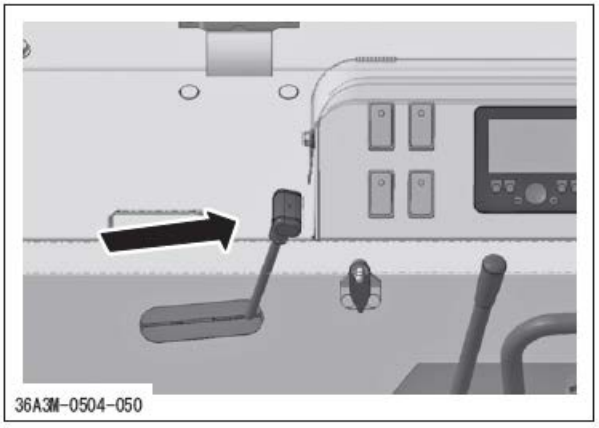
・手動クリーニングが正常に終了せず、DPFにススが溜まり続けるとDPF保護のためにエンジンの出力が制限されます。更にDPFが目詰まりをおこすとクリーニングが出来ずDPFの修理や交換が必要となります。



1.　駐車ブレーキを「Ⓟ　（駐車）」を押し、ロックレバーを「ロック」位置にします。

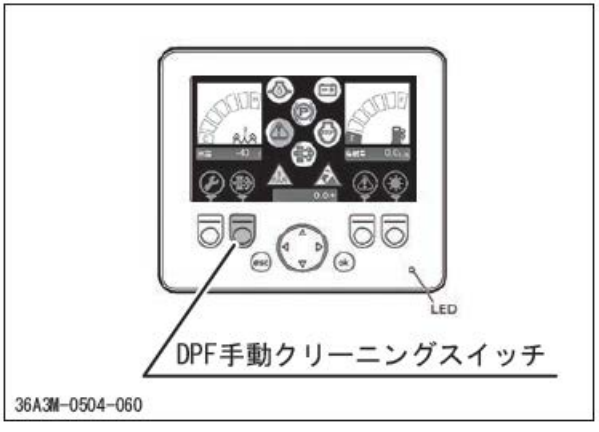


2.　水温を６５℃以上にします。
（６５℃未満の場合はエンジン回転数を上げて調整してください。）



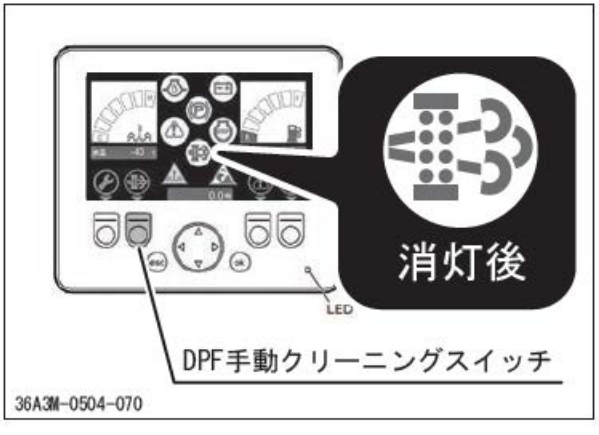
36A3M-0504-050

3. アクセルレバーを「 (低速) 」にします。



36A3M-0504-060

4. ＤＰＦ手動クリーニングスイッチを押します。



36A3M-0504-070

5. 消灯後、完了です。

⚠ 注　意

上図のようにディスプレイにエラーが表示されたら、ボタンを押してエラーコードを確認してください。

排出ガス浄化装置（DPF）

ディスプレイに排気ガスフィルタのアイコン（ ）が点滅したら必ずDPFの手動クリーニングを行ってください。

排気管の周辺に可燃物がないことを確認し、風通しの良い安全な場所で行ってください。

手動クリーニングは15～20分かかり、右記の 1 ～ 4 のうち1項目でも外れるとキャンセルされます。

詳細は取扱説明書をご覧ください。

DPF手動クリーニング手順

1. 駐車ブレーキを Ⓟ に入れる。
2. 水温を65℃以上にする。
   （65℃未満の場合はエンジン回転数を上げて調整）
3. アクセルレバーを にする。
4. DPF手動クリーニングスイッチを押す。
5. 消灯後完了。